

開講日	2013年春期 火曜日 18:30-20:00	講義場所	病院西棟 臨床シミュレーションセンター
コースディレクター	名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔・危機管理医学 教授 祖父江 和哉		

科目概要 および 期待される 成果	【概要】栄養療法は医療の基本である。近年、急性疾患から慢性疾患、さらには在宅医療、終末期医療においても栄養療法の重要性は再認識されている。臨床に役立つ栄養学を基本から学びなおし、日々の患者管理から栄養サポートチームへの参加まで可能とする知識まで解説する。また、知識のみならず簡単な実習を行うことにより、より栄養管理を身近なものとして考え直す機会とする。 【期待される成果】栄養学の基本を身に付け、様々な医療現場における栄養療法をサポートできるようになる。また、実習を通じて栄養療法に関連する手技を学びなおすことにより、実践的な最新技術を習得できる。
目標とする 資格	日本静脈経腸栄養学会「栄養サポートチーム専門療法士」

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
L-1	1	栄養学の基本の基本	糖質の消化・吸収や消化後の行方、ビタミンと臨床栄養学との関わり合いについて、わかりやすく講義します。	4月16日	准教授 岸 和廣 金城学院大学生活環境学部 食環境栄養学科
L-2	2	栄養スクリーニングとアセスメント	栄養障害とは何かを理解し、そのリスクをもつ対象者の抽出や栄養障害の評価法について学びます。	4月23日	管理栄養士 伊藤明美 名古屋市立大学病院 医事課 栄養管理係
S-3	3	栄養状態のモニタリングと評価	栄養療法において、実施した後のモニタリングと評価は、確実に栄養をstepupする上で重要です。本講義ではモニタリングと評価に関する知識と最新の知見、また集中治療領域で注目されている間接熱量計に関して説明します。	5月7日	医師 吉村真一郎 名古屋市立大学病院 麻酔科・集中治療部
S-4	4	経腸栄養の実際－経腸栄養をやってみよう－	経腸栄養の考え方を学び、カテーテル挿入実習(座学とシミュレーション)、経腸栄養剤の比較を行います。	5月14日	中央手術部 看護師長 深田栄子 14階南病棟 看護師長 中間文子 名古屋市立大学病院 看護部 教授 祖父江和哉 名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔・危機管理医学
S-5	5	経静脈栄養の実際－経静脈栄養をやってみよう－	静脈栄養の考え方を学び、カテーテル挿入実習(座学とシミュレーション)を行います。	5月21日	薬務係長 水野 裕之 名古屋市立大学病院 薬剤部 病院教授 笹野寛 名古屋市立大学病院 シミュレーションセンター長
L-6	6	摂食・嚥下障害を考える	加齢や低栄養、廃用による摂食・嚥下機能の低下について理解し、アセスメントの視点やリスク管理の方法について学びます。	5月28日	看護師 吉田佳代 名古屋市立大学病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師
L-7	7	在宅訪問栄養の実際	在宅では高齢者が多く、栄養問題は過剰栄養と低栄養を考慮することが必要です。的確な個別栄養計画が重要です。	6月4日	副会長 水野幸子 愛知県栄養士会
L-8	8	がんと栄養	がん患者に対しての栄養療法について、周術期、サルコペニア、担癌状態の栄養管理を中心に理解を深める。	6月11日	助教 小川 了 名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器外科学
L-9	9	炎症性腸疾患と栄養	炎症性腸疾患(クローン病)の病態と最新治療、栄養療法の重要性について解説します。	6月18日	講師 谷田諭史 名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学
L-10	10	食塩感受性と脳・心・腎	食塩感受性高血圧(高塩食で血圧が上昇)は腎Na排泄能低下に起因し、腎のみならず脳卒中や心不全の危険因子となります。	6月25日	准教授 福田道雄 名古屋市立大学大学院医学研究科 心臓腎・高血圧内科学
L-11	11	リハビリテーション・運動と栄養	運動・筋力と栄養、リハビリテーションとNSTについて解説します。	7月2日	作業療法士 矢賀進二 尾鷲総合病院 リハビリテーション部
L-12	12	糖尿病・代謝疾患と栄養	糖尿病の病態と食事療法・栄養療法について解説し、糖尿病関連のトピックスも紹介します。	7月9日	科部長 篠田純治 トヨタ記念病院 内分泌科
L-13	13	褥瘡と栄養	褥瘡の発生予防のための栄養介入、また褥瘡発生後における栄養管理について解説します。	7月16日	助教 西田絵美 名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科
L-14	14	周術期の栄養療法	周術期の栄養管理の重要性が認識されるようになりました。最新の知見を紹介し、主に術前・術中の栄養療法について考えます。	7月23日	医師 富田麻衣子 名古屋市立大学病院 麻酔科・集中治療部
L-15	15	重症患者の栄養療法	重症患者においても栄養療法は重要です。血糖管理、早期経腸栄養、静脈栄養などの最新の話題を提供します。	7月30日	教授 祖父江和哉 名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔・危機管理医学